



## 国宝級 国内最大銅鏡発見!

奈良市にある国内最大の円形古墳、富雄丸山古墳(4世紀後半、直径109m)から、いずれも国産とみられる盾形の銅(長さ64cm、幅約31cm)と、蛇行剣と呼ばれる鉄剣(全長237cm、幅約6cm)が見つかりました。銅鏡は国内で見つかった銅鏡で最も大きく、蛇行剣は古墳時代の鉄剣としては東アジア最大、蛇行剣では国内最古で、国宝級の発見だそうです。銅鏡と蛇行剣は、遺体を納めた木棺の外に置かれていました。銅鏡は「盾」と「鏡」を組み合わせたデザインで、裏には中国の神獣「鼉龍(だりゅう)」の文様などがあり「鼉龍文盾形銅鏡」という名前が付けられました。蛇行剣は柄や、さやの付いた状態で埋められたと考えられ、復元すれば約267cmなるそうです。古墳時代は歴史書が作られていない時代で「謎の4世紀」と呼ばれているので、空白の歴史が埋まるかもしれません。記者会見した県立橿原考古学研究所の岡林孝作副所長は「古墳時代における金工品の最高傑作」と評価。鏡は盾形で出土例がなく、鏡、剣ともに古墳研究史上の画期的な発見で国宝級」と言っています。



過去のことを正しく「知る」ことは、現代社会がどのような歴史の流れを経て今のカタチとなったのか、これからの社会がどうあるべきかを考えるきっかけになります。過去を材料に今を考え、未来をカタチ作ることは人間に課せられた大事な役割だと思った話題でした。

## 今年最初のお願い

「わくわく通信155号」でもお知らせした通り、本校の通常学級は、2年生から6年生までが3学級で、現1年生が唯一、2学級となっています。年々子供の数が減ってきており、来年度の入学予定の新1年生も、今の入学予定数からすると2学級になる可能性が高いです。新1・2年生ともに、あと1~2人ずつ(3人いれば安心です)増えれば、3学級になります。学級数が減るということは、職員の数も減るということです。マンパワーの充実のためにも、職員数はこれ以上減らしたくないという思いがあります。そこで、知り合いなどで、その世帯に現1年生や年長さんのお子さんが居て、引越す予定の方、転校を考えている方がいたら、ぜひ「わくわく」する学校、帯山西小学校を勧めて欲しいのです。昨日のKKTのニュース(下記URL)でも本校の「わくわく」の一端が見て取れると思います。これが私からの今年最初のお願いとなります。

<https://www.kkt.jp/nnn/news/00b1v4t0snmmob564f.html>

※YouTubeを視聴するには、別途データ通信料がかかりますのでご了承ください。